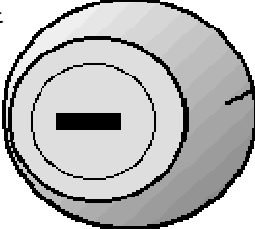


ピッキング対策だけで大丈夫！？

—新たなる手口 カム送り・サムターン回し—

昨今、新聞やテレビで世間を騒がせていたピッキングによる犯罪ですが、ピッキング犯罪の社会的認知度の上昇とともにその対応策がとられるようになってきました。弊社においてもピッキングに強い錠前ということで、各オーナー様に交換の必要性和有益性を以前よりお伝えしてまいりましたが、最近では対ピッキングという壁を破る新しい犯行の手口も判明してきております。そこで今回は最近新聞紙上等で世間を騒がせている代表的な手口（カム送り・サムターン回し）をお伝えしたいと思います。

◎カム送り・・・ シリンダーカラーとドアの隙間から特殊な工具を差し込み、錠のケース本体内部のカムを直接操作することで解錠する方法です。この方法はシリンダー内部を直接操作するため耐ピッキング性能は無関係になってしまいます。



右図のような錠前ならばご注意ください。

シリンダーカラー

- 錠穴の側面の部分をカラーと言います。
- この部分を引っ張ってみてドアとの間に隙間ができる場合は要注意です。

◎サムターン回し・・・ ドアポスト等玄関ドアの一部分を強引に破壊して直接ドアの内側から鍵を開けてしまうという手法です。破壊した部分から手を伸ばして特殊な工具を使用することなく開錠してしまうので、シリンダーの構造等は無関係になってしまいます。

◎対策・・・ 「カム送り」、「サムターン回し」に共通のことですが、効果的な対策は、補助錠を取り付けワンドア・ツーロックにすることだと思われます。また、カム送りに関してはシリンダーカラーとドアの隙間を埋める補助器具を装着することで防ぐことができます。

ピッキング犯罪の増加とその対応策が普及してきた一方で、上記のような新たな手口が出現しています。そのたびに各個対策が取られていますが、今後の防犯対策はいかに侵入までに時間を掛けさせるか、つまりいかに開錠しにくいようにしていくかということを前提に考えていかなければならないでしょう。